

平成24年度第10回移動市長室会議録

(平成25年 1月28日)

1 日 時：平成25年 1月28日（月）、14時00分～15時45分

2 場 所：筑紫南コミュニティセンター

3 出席者：

『ちくしの高年パープル会（二日市地区）』

神代会長、江口副会長、岩崎会計、茶園総務

『筑紫南高年クラブ（筑紫南地区）』

中山会長、山本副会長、安藤総務、大西会員、川副会員、宮本会員

『みかさ輝きたい！（御笠地区）』

鹿田会長、岩切副会長、木村会員、黒木会員、川崎会員

『ちょっといい会！（山口地区）』

緒方会長、久野副会長、酒井総務、山下会計、田中会員、久留須会員

『筑紫野市』

藤田市長、榑木教育部長、榑木秘書広報課長、萩尾戦略企画課長、中村生涯学習課長、渡辺生涯学習課長補佐、黒葛原生涯学習担当、松隈秘書広報課主任、木下秘書広報課主事

4 内容：団体の現状と課題などについての懇談

○（事務局） 皆さん、こんにちは。

本日は大変お忙しい中、ちくしの高年パープル会、筑紫南高年クラブ、みかさ輝きたい！、そして、ちょっといい会！の皆様にご貴重なお時間をいただき、また、本日のために日程調整や諸準備等、本当にありがとうございます。

ただいまから平成24年度第10回移動市長室を始めさせていただきます。

本日、司会進行を務めさせていただきます秘書広報課の植木と申します。よろしくお願いいたします。

移動市長室は、市内のいろいろな分野で活躍している各種団体、グループの方と懇談を行い、そこでの意見や要望を市政に生かしていこうとするものです。今回で通算18回目の開催となります。

本日の懇談はお手元の次第のとおりに進めてまいります。

藤田市長の挨拶、出席者の自己紹介、そして、懇談の順番で進めてまいります。懇談は、まず、それぞれの4つの高年クラブの現在の活動状況についてお話いただきます。その後、身体活動、ペン習字、絵手紙の3つの教室を視察させていただきます。視察終了後に意見交換を行い、最後に今後の活動についてお話いただきます。意見交換では、より理解を深めるためにいろいろと質問させていただきたいと思います。本日の懇談内容は、会議録を作成し、市民の方に公表させていただきます。また、撮影した写真は、市の広報紙、ホームページに掲載させていただきますので、御了承ください。有意義な懇談会となりますよう、最後までよろしくお願いいたします。

では、藤田筑紫野市長が皆様に挨拶を申し上げます。

○（藤田市長） 皆さん、こんにちは。本日は平成24年度第10回、通算すると第18回目の移動市長室になります。日ごろから生涯学習の推進及び地域コミュニティの活性化のために御尽力いただいております筑紫野市高年クラブの皆様と懇談をさせていただくことを大変うれしく思っているところでございます。

この移動市長室でございますが、各地域に出向きまして、市内で活動する団体やグループの皆様と身近なテーマについて対話を行うことで、市の情勢を把握させていただき、今後の市政に生かすことを目的としているところでございます。

高年クラブは平成13年に始まり、ちくしの高年大学修了者189名のうち、166名が4つの高年クラブでそれぞれに活動されていると聞いております。

これまでに培ってこられた知識や技能を生かし、自主的な学習活動を行うだけでなく、

筑紫野市が重要施策の一つとして掲げております共助社会づくりを、高齢者の立場から生涯学習のフェスティバル支援、万葉の里ウォーキング事業、小学校の学習支援、クラブ活動支援、地域文化祭の事業支援、そして地区文化祭のコミュニティまつりでの出展など、いろいろな活動をされており、きょうはその活動内容についてお聞かせいただけることを楽しみにしております。

皆さん方の顔を拝見しておりますと、地域活動をはじめ、いろいろな活動の中でお世話になった方がたくさんいらっしゃいます。区長さんもいらっしゃいますし、健康づくり運動サポーターの宮本代表もいらっしゃいます。昨年、小川県知事がふるさと訪問で筑紫野市を訪問したときも、健康づくり運動サポーターの皆さんに健康運動を教えていただきました。そのことが知事の記憶に残っているようでして、会うたびに健康づくり運動サポーターのことを話されます。皆さんの活動が、誰もが住んでよかったと思えるまち、ふるさととして誇りがもてるまち、「みんながつくる自然とまちの共生都市ちくしの」の実現に向け大きな力となると感じているところでございます。本日は、筑紫野市のよりよいまちづくりの実現のため、皆さんの活動状況や想いをしっかりとお聴きしながら、懇談をさせていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

- （事務局） 続きまして、出席者の自己紹介を行います。まず、行政側からまいります。秘書広報課の榎木と申します。よろしくお願いたします。
- （教育部長） 教育部長をしております榎木といいます。よろしくお願いたします。
- （生涯学習課長） こんにちは。生涯学習課長の中村と申します。よろしくお願いたします。
- （戦略企画課長） 皆さん、こんにちは。戦略企画課の萩尾です。よろしくお願いたします。
- （生涯学習課長補佐） 皆さん、こんにちは。生涯学習課の課長補佐 渡辺と申します。よろしくお願いたします。
- （事務局） 秘書広報課の松隈と申します。よろしくお願いたします。
- （事務局） 秘書広報課の木下と申します。本日はよろしくお願いたします。
- （生涯学習推進担当） 生涯学習課の黒葛原と申します。よろしくお願いたします。
- （事務局） それでは、南高年クラブの中山様から順番で自己紹介をお願いいたします。
- （中山筑紫南高年クラブ会長） 筑紫南高年クラブの会長をしております中山雄夫でございます。どうぞよろしくお願いたします。
- （山本筑紫南高年クラブ副会長） 筑紫南高年クラブの副会長をしております山本でございます。よろしくお願いたします。

- （筑紫南高年クラブ） 筑紫南高年クラブ総務の安藤でございます。よろしくお願いいたします。
- （筑紫南高年クラブ） 筑紫南高年クラブ初代の代表を務めました大西でございます。
- （筑紫南高年クラブ） 筑紫南高年クラブの2代目の会長をいたしました川副でございます。ただいま相談役を仰せつかっております。
- （筑紫南高年クラブ） 同じく筑紫南高年クラブの相談役宮本です。よろしくお願いいたします。
- （みかさ輝きたい！） みかさ輝きたい！の木村でございます。
- （岩切みかさ輝きたい！副会長） みかさ輝きたい！の副代表をさせていただいております岩切と申します。よろしくお願いいたします。
- （鹿田みかさ輝きたい！会長） みかさ輝きたい！の会長をしています鹿田東男と申します。よろしくお願いいたします。
- （みかさ輝きたい！） 同じくみかさ輝きたい！の川崎です。よろしくお願いいたします。
- （みかさ輝きたい！） 同じくみかさ輝きたい！とちょっといい会！にも所属させていただいております黒木と申します。よろしくお願いいたします。
- （神代ちくしの高年パープル会会長） ちくしの高年パープル会の神代です。よろしくお願いいたします。
- （江口ちくしの高年パープル会副会長） ちくしの高年パープル会の副会長江口龍海です。
- （ちくしの高年パープル会） ちくしの高年パープル会の会計を担当しまして、もう一つは、筑紫南高年クラブにも所属しております岩崎でございます。よろしくお願いいたします。
- （ちくしの高年パープル会） パープル会の総務を担当しております茶園と申します。
- （ちょっといい会！） ちょっといい会！の久留須巽でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- （ちょっといい会！） ちょっといい会！の山下と申します。会計をやっております。
- （ちょっといい会！） ちょっといい会！の総務を担当しております酒井と申します。よろしくお願いいたします。
- （久野ちょっといい会！副会長） ちょっといい会！の副会長をさせていただいています久野洋子と申します。よろしくお願いいたします。
- （ちょっといい会！） ちょっといい会！の田中と申します。主に企画を担当しております。よろしくお願いいたします。

○（緒方ちょっといい会！会長） ちょっといい会！の会長をしている緒方でございます。
よろしく申し上げます。

○（事務局） どうもありがとうございました。それでは、懇談に移ってまいります。

まず、高年クラブの活動状況につきまして、中山会長のほうからお話をお願いいたします。

○（中山筑紫南高年クラブ会長） それでは、高年クラブの活動について説明をさせていただきます。

60歳以上の高齢者が生涯を通して生きがいを見出すための学習及び学習で得た技術、技能を生かし、社会活動に積極的に参画し、地域社会に貢献できるきっかけづくりを目的に、平成13年度にちくしの高年大学が開設されました。ちくしの高年大学では、外部講師による教養講座、絵画や合唱や身体活動等、6コースの中から一つを選び受講する専門講座、社会参加活動や学校支援のための技能や技術習得のためのクラブ活動等にて自分磨きに励みます。高年大学で習得した技術、技能を発揮、体験する場として、世代間交流事業、夏休み工作教室、各種イベント会場での工作体験コーナー支援を実践してきました。高年大学受講年限は4年となっており、平成16年以降23年度までのちくしの高年大学修了生は189人、ちくしの高年大学受講生数は24年度99人となっております。

高年大学修了生の受け皿として、平成17年4月にちくしの高年大学修了生を中心とした、ちくしの高年パープル会が生涯学習センターに設立されました。自主学習グループ高年クラブ第1号の誕生です。

学習活動の継続及び学習成果の発表の場づくり、仲間づくりを実施し、生涯楽しく健康で生き生きと自立した高齢者を目指しています。

ついで、平成19年4月に、ちくしの南高年クラブが筑紫南コミュニティセンターに高年クラブ第2号として設立、平成20年4月に、みかさ輝きたい！が御笠コミュニティセンターに設立、平成21年4月に、ちょっといい会！が山口コミュニティセンターに設立され、市内4カ所に高齢者の自主学習団体高年クラブが設立されました。

以上が高年クラブ設立の経緯です。

これから、市内4高年クラブの紹介に移りたいと思います。よろしく申し上げます。

○（ちくしの高年パープル会） それでは、ちくしの高年パープル会の発表をさせていただきます。活動の目的として、会員の親睦と交流を図り、生涯学習の充実と発展とともに、住みよい地域づくりのために寄与するということを目的としています。

学習の心得として、役員任せの運営ではなく、各自が自覚を持って自主的に学習に参画するというものがあります。

会費は年間1万円で、支出の内容として、学習室の使用料、講師の謝礼、館外研修、懇親会の補助、事務費等に使用しております。

会員は48名、会員の平均年齢は平成24年の4月で77歳となっております。

対象者は、二日市地区の60歳以上の市民、そして活動の拠点は、生涯学習センターです。

スライドに移って写真は、趣味講座のわくわくコースで、軽運動をしているところです。

活動の日時は、毎月第2月曜日の9時30分から15時までです。活動の内容としては、教養講座と、ストレッチ体操などを行う体操講座をしております。

教養講座は、毎月講師を招いてテーマに沿って行っており、体操講座は、講師ほか2名の指導のもとで、ストレッチ体操やゲーム等を行っております。コース別学習は、合唱、わくわくコースA、わくわくコースBの3部門に分かれています。合唱班は童謡や流行歌唱などを歌っております。わくわくAコースは、軽体操と健康の講座、わくわくBコースは、和紙工芸、ちぎり絵等を行っております。

第2月曜日の15時から、役員会を行っており、運営会議をしております。

自主的な社会参加活動として生涯学習フェスティバルの支援のほか、ちくしの高年大学主催の「夏休み工作教室」の支援として、市内6カ所の支援を行っております。また、万葉の里ウォーキング事業支援なども行っております。

学習の成果として、ちくしの高年大学主催の作品展に出展や、地区公民館での工作教室支援を行っております。

会員の交流会として1日館外研修を行っており、9月には久留米市の石橋文化センターのばら園に、11月には九重町の九重夢大吊橋に行きました。こちらの写真は、懇親会の集合写真です。

会員は楽しく学習を行っております。これで、ちくしの高年パープル会の活動の説明を終わらせていただきます。

○（事務局） 続きまして、筑紫南高年クラブの紹介をお願いいたします。

○（筑紫南高年クラブ） 活動目的や学習心得は、ちくしの高年パープル会から説明がありましたので、省略いたします。筑紫南高年クラブは、平成19年に設立しました。私どもが、ちくしの高年大学を卒業する半年ぐらい前に準備委員会をつくり、いろいろ協議をし

ながら、地域に貢献できる高年クラブを立ち上げました。

会費が1万円、会員数が60名となっております。筑紫南高年クラブ創設時の人数は51名でした。平均年齢が69歳となっております。

講座を開催する会場の収容人数に限界があるため、現在、若い人が入会できない状況になっています。退会される方もほとんどおらず、非常に好評を博しております。

ちくしの高年大学を卒業されて筑紫南高年クラブに入会された方が3分の1、地域から入会された方が3分の2いるため、地域の人を中心となって運営をしております。

活動日時は、毎月第4月曜日の9時半から15時まで、その後、活動運営委員会を15時10分から1時間程度行い、その日の高年クラブの活動内容等についていろいろと反省や意見を出して協議しております。

活動内容としては、午前中が教養講座です。今年度やりましたテーマを少し申し上げますと、郷土史ということで長崎街道の原田宿にまつわる話、高齢者の交通マナーや防災訓練、それから、身体障害者の方で、独学でハーモニカを習得された西川義夫さんから「ハーモニカと人生」と題した講演も聞きました。

また、毎年10月、11月に読売新聞の出前講座で医療セミナーを共催でやっております。一般の方も参加していただきまして、毎回大体150名、160名の方に来ていただいております。非常に好評でございます。ほかにも、西日本新聞社の出前講座や福岡歯科大学の出前講座などもやっております。

それから、コース別学習として、身体活動、ペン習字、絵手紙などもあります。

自主活動、社会参加活動ということで、筑紫南コミュニティセンターの文化祭支援、夢むらさきクロスロード400事業の支援、筑紫小学校「ふれあい祭り」の工作支援、はつらつウォーキング支援、親子エンジョイ餅つき大会の支援などいろいろなことをやっております。

それから、学習成果の発表ということで、筑紫地区文化祭での出展、生涯学習フェスティバルでの展示のほか、ちくしの高年大学「夏休み工作教室」支援を行っています。筑紫南コミュニティセンターでの工作教室は非常に好評でございます。生徒も多く、毎回大体120、130名の生徒に参加していただいて、非常に大きなイベントになっております。

こちらの写真は、昨年9月に山口県に視察に行ったときの絵画交流会の写真でございます。懇親会では、毎月10月にグラウンドゴルフ大会を行い、交流を深めております。

筑紫南高年クラブを立ち上げてから、今年で7年目を迎え、非常に喜ばしく感じています。

以上でございます。

○（みかさ輝きたい！） みかさ高年クラブ、通称みかさ輝きたい！の紹介をさせていただきます。

まず、活動目的、学習心得については、説明いただいた通りです。

みかさ輝きたい！の活動は5年がやっと終わろうとしているところです。この間に会員の入れかえ、会費の変更などで試行錯誤してまいりましたが、やっと安定しまして、年間の会費5,000円、対象は御笠地区ですが、他地区からも参加していただいています。活動日時につきましては、毎月第3月曜日9時半から15時までで設定をしております。活動内容については、25人しかおりませんので、会員全員で活動しています。

郷土史につきましては、地元非常に歴史に詳しい方がおられますので、その方を中心に近隣の史跡を巡っています。

それから、合唱は、年5回やっています。文化祭、ものづくり、レクリエーション、地域づくり学習ということが、みかさ輝きたい！の活動の特徴でございます。県の農業試験場の方とも話をしております、果実のせん定とか、花の苗の植え付けとかの実践をしております。それから、筑紫女学園大学のほうで福祉の先生との接点ができまして、福祉に関する講座や、ゼミの学生との交流会をしております。

自主活動としましては、御笠地区市民文化祭に出店しているほか、地域公民館での自主活動として、公民館で子ども会とタイアップして工作教室的なものをしております。阿志岐小学校で、地域の名人と遊ぼうという世代間交流事業をしております。それから、10月に阿志岐小学校で「阿志岐ふれあいフェスタ」が開催されていますが、その中の工作部門を我々が担当しています。それから、筑紫女学園大学の文化祭にも出店し、うどんを売っております。

学習成果の発表としては、合唱の発表の場として文化祭に出演しています。それから、生涯学習フェスティバルの支援、ちくしの高年大学の工作教室の支援も行っています。

また、先ほど言いましたゼミの学生との交流会では、私たちの3名が持ち時間10分で人生の体験談をいたします。その後、発表者と学生、そしてみかさ輝きたい！のメンバーで、3グループをつくり、交流を図ります。この取り組みは、私たちが普段接していない、これから社会に出る世代との交流であり、非常に有意義であると思っております。

今年、音楽の先生や黒葛原さんの協力を得まして、みかさ輝きたい！の愛唱歌をつりました。それをCDにしまして、このときに初披露しました。

会員間の交流としては、郷土史の活動の中で館外研修をやっております。最近、飯塚市の旧嘉穂町に行きました。それから、神功皇后のルーツを訪ねるということで、香椎から宇美方面、宇美八幡方面へ回りました。

それから、グラウンドゴルフ、パークゴルフ、ペタンクといったスポーツの推進も図っています。こちらの写真は、さくらの里公園、御笠グラウンドでグラウンドゴルフをやったときの写真でして、みんなで車の中で弁当を食べ、非常に盛り上がりました。

以上で終わります。

○（ちょっといい会！） ちょっといい会！の活動内容を報告させていただきます。

活動の目的は共通していますが、拡大する高齢化社会を迎えて、課題でありますコミュニケーションを広め、住みよい地域づくりに参画したいと考えています。そして、生涯を通して生きがいのある活力ある人生を全うしたいと願っています。

活動の日時は、毎月第4木曜日の9時から12時まで、内容としましては、1時間ぐらいストレッチをやって体をほぐして、その後に、合唱、ものづくり、軽スポーツ、レクリエーション、陶芸教室などをやっております。基本的には、楽しい時間をたくさんつくっており、地域と交流する際には多くの参加があるといいなと思っております。

座学も必要と考えておりますが、基本的に活動が午前中までですから、座学については、ちくしの高年大学の教育講座を利用、あるいは、ほかの高年クラブの座学を利用させていただきたいと思っております。

会が終わった後には、運営委員会を行い、その日の反省会や今後のことについて話をします。

会費は半年ごとに4,000円ずついただきまして、年間で8,000円いただいております。現在会員数は33名であり、対象は山口自治会の市民です。会場となる教室は、山口コミュニティセンターの教室ですが、小さいため、大研修室を使っております。

自主活動の中には、山口コミュニティ祭りでの出店のほか、山口小学校での学習支援として、昔なつかしの工作教室をやらせていただいております。夏休み期間は、山口コミュニティセンターで子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。

学習の成果発表としては、山口コミュニティ祭りの支援で、おしるこを提供しました。また、ちくしの高年大学の夏休み工作教室、ほかの地区の工作教室へも参加させていただ

きました。今後も山口コミュニティセンターで世代間交流を広げていただけたらと思っております。

会員の交流会につきましては、1日館外研修として海の中道の海浜公園を巡りました。会員が楽しい時間を通して、相互のコミュニケーションを深めることができたと思っております。これからも、地域との交流を深めながら活動を展開したいとお願いしております。

これをもちまして、ちょっといい会！の報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○（中山筑紫南高年クラブ会長） 以上で4クラブからの発表が終わりましたが、高年クラブの活動は、地域コミュニティの活性化に寄与することを目的としています。その達成のためには、単独の活動にとどまらず、4高年クラブが、会員の親睦と交流をうたいながら協力します。そして、協働で事業支援することで、自らの学習と生きがいの向上につながると思っています。具体的には、生涯学習フェスティバルでの協働支援や各コミュニティセンター祭りでの支援等々、各種イベントへの積極的な支援活動を実施してきております。

協働事業としましては、平成21年度から24年度まで、県委託事業「ふくおか高齢者はつらつ活動拠点事業」を受託し、実行委員として参画しています。地域の高齢者と子供の世代間交流事業として、はつらつ講座、ものづくり講座の実施運営を行っています。

具体的には、高齢者と子供の世代間交流事業として、万華鏡などのものづくり支援、また、いきいきサロンでの高齢者同士の交流等、地域コミュニティ活動に参画しております。夏休み期間中の小学生への夏休み工作教室への工作指導、また、市内4高年クラブ間での交流として、学習ビジター制を導入し、各高年クラブの教養講座の受講を可能としました。

今後の地域コミュニティの活性化を図るために、先人の知恵や技術をもった我々高齢者166名の活動は、地域の財産として貴重なものだと思います。そのため、高年クラブ間のさらなる交流と連携、学習の充実を図り、各コミュニティ協議会の組織団体の一つとなって、まちづくり、地域づくり、人づくりのお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。

以上で発表を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○（事務局） どうもありがとうございました。4つの高年クラブから、自らの学習と生きがいの向上ということで大変わかりやすく説明していただきました。本当にありがとうございました。ご紹介いただいた写真が全て楽しそうであったのが大変印象的でした。ありがとうございました。それでは、一旦懇談はここで中断いたしまして、別室で身

体活動、絵手紙、ペン習字の3コースの様子を視察をさせていただきたいと思います。

～【筑紫南高年クラブ学習活動視察】～

○（事務局） 3コースの視察をさせていただきました。本当にありがとうございました。軽運動では、セラバンドという初めて見る運動を拝見させていただきました。絵手紙では、笑いが絶えない談話をさせていただきました。ペン習字では、20人の皆さんが熱心に、ペン習字に取り組まれている様子を拝見させていただきました。本当にありがとうございました。それでは、また懇談に戻らせていただきたいと思います。

先ほど、4高年クラブの代表の方々からそれぞれの取り組みをわかりやすく丁寧に、そして、生き生きと説明していただきました。本当にありがとうございました。せっかくの機会でございますので、理解を深めるために幾つか質問をさせていただきたいと思いますので、ぜひ気軽に回答いただきますようお願いします。

高年クラブは、大体毎月1回開催をされているようですが、4高年クラブでのそれぞれの参加率はいかがでしょうか。それと、これまでの講座やコース、もしくは年間を通してのイベントの中で、特に人気が高かったイベントがありましたらぜひお聞かせください。それでは、筑紫南高年クラブの中山会長からお願いします。

○（中山筑紫南高年クラブ会長） 参加率といいますと、我々60名会員がいるんですけれども、各コースで、20名、20名、20名と分かれております。午前中の教養講座では55名くらいです。非常に出席率はよい状況です。午前中出席して、午後は都合で帰るといふ人や、午前はちょっと教養講座を受講できないけれども午後だけ出席するという方もいる状況で、出席率は90%を超えています。非常に参加率もいいですし、明るく元気にやっております。

○（事務局） 特に、人気が高かったイベントのようなものがあれば教えてください。

○（中山筑紫南高年クラブ会長） やはり、教養講座の中で人気があるというのは、健康に関する出前講座です。一般の方にも出席していただいています。役員15名が運営委員会として会議を行い、みんなで知恵を出し合って、よりよい講座を検討しています。

○（事務局） わかりました。ありがとうございます。では、次にみかさ輝きたい！の鹿田会長お願いいたします。

○（鹿田みかさ輝きたい！会長） 人気のある講座は、外に出るもの、日常やっているもの、

農業試験場関連、そして地元の歴史史跡を訪ねるものです。これらは結構出席率が高く、大体80%はいていると思います。

○（事務局） ありがとうございます。では、次にちくしの高年パープル会からお願いします。

○（ちくしの高年パープル会） 出席率は80%から90%くらいです。

人気があるのは、館外研修です。懇親会をやっているものもかなり人気があります。学習のほうは、市の健康推進課と文化振興課にお願いして実施した県の出前講座のほか、栄法寺住職による講話がはじめてということもあって人気がありました。

○（事務局） ありがとうございます。最後に、ちょっといい会！からお願いいたします。

○（ちょっといい会！） 皆さん喜んでくれたのは、グラウンドゴルフです。あと僕らが参考になったものとしては、実際にAEDを使ったことがなかったので、AEDの講習会が参考になりました。これは、また折りを見てやったほうがいいかなというふうに思っています。

あとは、環境について考えようということで、クリーンヒル宝満の視察を行いました。環境問題を身近に感じられてとてもよかったと思っています。ほかには、福岡高等学園での陶芸づくり、これは、ものづくりの面白さを皆さん感じておられるようでして、今後とも継続していきたいと感じています。

○（事務局） ありがとうございます。続いての質問ですが、皆さんは役員でありながら、会員でもあります。御自身も生きがい、社会参加に取り組んでおられるわけですが、日ごろ活動されていて一番楽しいと思われたことは何でしょうか。そして、高年クラブの魅力は何だと思われますか。御自身の考えで結構でございます。それではちょっといい会！の久野さんいかがでしょう。一番楽しいと思われたことは何だったのでしょうか。

○（久野ちょっといい会！副会長） 例えば先ほどのグラウンドゴルフにしてもそうですが、1人では楽しめないことをみんなで楽しめること。それと、福岡高等学園に行ったときに、就職活動を控えた生徒がいて話をしました。それで、学校側からいい機会になったとおっしゃっていただいたことなどがあり、地域や人の役に立ったなと感じるときが楽しく感じたりします。

○（事務局） ありがとうございます。続きまして、ちょっといい会！の山下さんお願いいたします。

○（ちょっといい会！） 私は山口地区のみんなとも仲良くやっていくのが一番楽しいです。

ちょっといい会！でお祭りとかにも参加して、また、小学校の子どもたちとも交流して、とっても楽しく活動しております。

以上です。

○（事務局） ありがとうございます。続きまして、ちくしの高年パープル会の岩崎さんいかがでしょう。

○（ちくしの高年パープル会） やっぱりふれあいということです。夏休みの子ども教室などで、子どもとふれあうことができるのはいいことだなと思っています。

○（事務局） ありがとうございます。続きまして、みかさ輝きたい！の木村さんいかがでしょう。

○（みかさ輝きたい！） 私は美しが丘に住んでいます。みかさ輝きたい！では、先人の人たちといろいろな交流ができて、非常にいいふれあいをさせていただいています。また、いろいろな地域の文化祭に出席することで、多くの人とふれあうことができ、非常に楽しい思いをさせていただいております。

以上です。

○（事務局） ありがとうございます。続きまして、ちくしの高年パープル会の茶園さんいかがでございましょう。

○（ちくしの高年パープル会） 今年度は、ものづくりの先生として自分でも楽しむことができました。私は、ちくしの高年パープル会に入ってまだ2年目でして、あまり活躍できてないんですけど、いろいろな各高年クラブのところに行かせていただいて充実しています。

○（事務局） ありがとうございます。続きまして、筑紫南高年クラブの大西さんいかがでしょう。

○（筑紫南高年クラブ） 館外研修に一般で行く場合と比較すると、費用が半額ぐらいで行けます。うちは出前講座を積極的に取り入れていまして、謝礼金の予算が大分抑えられています。館外研修では、その分を振り分けており、非常に参加率もいいです。今後も継続していきたいと思います。

○（事務局） ありがとうございます。最後に同じ筑紫南高年クラブの安藤さん、よろしくお願いたします。

○（筑紫南高年クラブ） グラウンドゴルフの話がありましたけども、これが一番の思い出です。生まれて初めてグラウンドゴルフやって、高年クラブの大会でホールインワンを

2回達成し、初優勝しました。

- （事務局） ありがとうございます。それぞれが活動を積極的に捉えているというのがよくわかりました。ありがとうございます。

続きまして、次の質問をさせていただきたいと思います。

4 高年クラブの学習状況をお尋ねいたしました。大体、教養講座とコース別学習の2本立てで構成をされているようです。年間の学習計画をどのようにして計画されているのでしょうか。

それと、教養講座等で講師の方はどのようにして選定されて、どのように依頼されているのでしょうか。各クラブに教えていただきたいと思います。まず、筑紫南高年クラブからお願いします。

- （筑紫南高年クラブ） 年間の学習計画は先ほど言いましたように、役員が15名ほどいますので、その中で知恵を出し合ひまして、特に宮本初代総務部からいろいろな知恵を出していただきまして、講座を紹介していただきました。みんなが知恵を出し合って年間計画を立て、講師料の少ない出前講座を活用しているということが、筑紫南高年クラブの特徴だと思います。

実質的な年間計画は10月ごろからでき上がっています。ちくしの高年大学の講座を聞いてきた人が講座の紹介をしてくれたり、また、いろいろな新聞社に声をかけてくれたり、役員が協力して計画を立てています。

講師手配につきましても、紹介した人が責任を持って講師紹介をします。また、ちくしの高年大学の講師にお願いすることもあります。

- （事務局） ありがとうございます。続きまして、みかさ輝きたい！お願いいたします。
- （みかさ輝きたい！） みかさ輝きたい！の年間計画につきましても、前年度の計画に基づいております。私どもの場合は、固定された講座がありますので、空いている5、6回の所に何を入れるかということも6名で検討しています。講師につきましても、経費がかからないよう、できるだけ地場の方を、ボランティアバンクにお願いしたりしています。

- （事務局） ちくしの高年パープル会お願いいたします。

- （ちくしの高年パープル会） ちくしの高年パープル会は、全体の連絡会議にかけて、皆さんの意見を吸い上げる。そして、役員会にかけようとしています。なかなか意見が出てきません。決定するのは役員会でして、会員の意見を吸い上げて検討を行い、最終的に総会で決定しています。皆さんおっしゃっているように、あまりお金がかからないよう

に運営していかなければいけないと考えております。

○（事務局） ありがとうございます。最後に、ちょっといい会！お願いいたします。

○（ちょっといい会！） ちょっといい会！の年間のスケジュールは、運営委員会の各班長、役員で大体のアウトラインをつくっています。実りの大きいクラブ活動にしようということで、皆さんの意見を極力拾っていくようにしています。ちょっといい会！には、いろいろな情報を集めることが得意な人がたくさんいらっしゃいます。2月頃には皆さんにお渡しして、意見を求めていこうかなと思っています。

座学につきましては、やっぱり皆さんと一緒になるべくお金がかからないように、県の出前講座などを検討しています。

○（事務局） ありがとうございます。それぞれお金がかからないように工夫をされてあるということでした。さらに質問させていただきたいと思います。

先ほどスライドで説明された中で、4高年クラブとも小学校や筑紫女学園大学、県の農業試験場などと交流をされて、楽しかったという話をされていました。その辺りをもう一度お話いただけますでしょうか。各クラブがどの小中学校、大学とどのような交流、連携をされているのか、もう少し詳しく説明していただきまして、感想など、お聞かせいただきたいと思います。筑紫南高年クラブからお願いいたします。

○（筑紫南高年クラブ） やはり夏休み工作教室での子どもたちとのふれあいによって我々高齢者は元気をもらっています。原田小学校、筑紫小学校などがあり、筑紫南コミュニティセンターは子供が非常に多いです。ただ、参加するために交替していかないといけない状態です、その点が非常に残念です。

○（事務局） 続きまして、みかさ輝きたい！お願いいたします。

○（みかさ輝きたい！） 世代間交流として、ちくしの高年大学の夏休み工作教室をやっています。子どもたちの笑顔を見るのはいいものですし、それを支援している会員の笑顔も私は好きです。会報には、彼らの笑顔を載せるように心がけています。

農業試験場につきましては、果実のせん定といった実用的なことだけでなく、様々な世代の人たちと話ができて、我々の財産になると感じています。

○（事務局） ありがとうございます。ちくしの高年パープル会、お願いいたします。

○（ちくしの高年パープル会） ちくしの高年パープル会の活動として小学校には行っていませんが、東新町の公民館で工作教室の支援として、万華鏡づくりの指導や、牛乳パックを使った遊びなどの指導を行っています。

○（ちくしの高年パープル会） 少し補足しますと、生涯学習フェスティバルには、ちくしの高年パープル会から男性と女性の代表者がそれぞれ参加しています

○（事務局） ちょっといい会！お願いいたします。

○（ちょっといい会！） 山口小学校を主体にやらせていただいているほか、福岡高等学園のほうで陶芸教室に参加しています。福岡高等学園の陶芸教室では、ものづくりのおもしろさを本当に感じられたみたいで、できれば毎年続けていきたいと思っています。福岡高等学園のほうも歓迎してくれています。

○（ちょっといい会！） 山口小学校では、遊びに参加した後に、給食を御一緒させていただきまして、そこでまた交流が生まれました。

○（事務局） 楽しく交流されている様子が目の前に浮かんでくるようです。ありがとうございます。

では、もう時間も押し迫っておりますので、最後の質問にさせていただきたいと思えます。今日は、4団体とも主に役員の方々に御出席いただいているところでございます。長い間運営に携わってある方が多いと思えますが、それぞれのクラブの中で運営をされていく中で、何か苦勞されている点、困難に思われている点、困っているという点がありましたらぜひお聞かせいただきたいと思います。副会長さんにお尋ねしたいと思います。まず、山本副会長からお願いします。

○（山本筑紫南高年クラブ副会長） 筑紫南高年クラブの場合は、先ほども少し申し上げたんですが、会場の視聴覚室が収容人員の60名をオーバーする状態になっております。新しく入りたいという方も結構来ているので、今後どうするかということがあります。新たな公民館やコミュニティセンターの設置をもう少しスピードアップしていただければと思います。

○（事務局） 続きまして、みかさ輝きたい！の岩切副会長お願いいたします。

○（岩切みかさ輝きたい！副会長） 私は、ちくしの高年大学からお世話になってみかさ輝きたい！に入り、3年目が終わりましたが、入ったときは10数名しか会員がいませんでした。2人、3人休むと参加者が4、5人となり、講座の先生が一生懸命話してくれても聞いている生徒が少なく、気の毒に思えました。そのため、何とか会員を30名位に増やさないといけないと考え、勧誘する際に1万円という会費がネックだと思い、会費を5,000円にしました。すると、一昨年、会員は24、25名になりました。今年も会員がかなり増えるのではないかと考えています。今年も会員を30名まで増やしたいです。

○（事務局） ありがとうございます。続きまして、ちくしの高年パープル会の江口副会長お願いいたします。

○（江口ちくしの高年パープル会副会長） 今現在78歳の平均年齢ですから、参加者がだんだん減っていくことが考えられます。

今後も60名の参加者を維持していくために、いろいろなことをしていかないとだめだと思っています。

それと、我々は生涯学習センターを使わせていただいておりますが、予算の中で、学習室の使用料が結構負担になってきていますのでそういう点を何とか解決できればと思っております。

○（事務局） ありがとうございます。最後に、ちょっといい会！の田中様、お願いいたします。

○（ちょっといい会！） ちょっといい会！は、月1回の活動時間が3時間なんです。午後はやっていませんので、企画を考えています。例えば、来年度は、自然の探検に行こうと考えています。

それと、月1回会報紙をつくるのですが、ほとんど私の独断と偏見でつくっており、これでいいのかなと悩んでおります。

○（事務局） わかりました。ありがとうございます。グループごとにやっていることに違いがあり、大変興味深く聞かせていただきました。

意見交換はここで終了とさせていただきます。今後の活動について、みかさ輝きたい！の鹿田会長からお話をお願いしたいと思います。

○（鹿田みかさ輝きたい！会長） このたびは高年クラブの活動についてお話しする時間をいただきありがとうございました。私たち高年クラブ会員は、会員相互の生涯学習の充実、発展とともに、住みよい地域づくりのために寄与することを目指して一丸となっております。今後も、クラブの発展とその目的達成のため、また生きがいを持って生涯を楽しく過ごすことができるよう、3つの視点を持って過ごしたいと考えております。

まず、1点目は、団体目的である地域コミュニティの活性化に寄与するために、活動拠点であるコミュニティセンターの主催事業に積極的に参加し、事業の企画力などを身につけ、コミュニティセンターと協力し高年クラブの活動の輪を広げたいと思います。

2点目は、さまざまな学習を通して得た知識や技術を、未来を担う子供たちや地域の皆様に還元する方法を模索し実践したいと思います。そのためには、生涯学習課やコミュニ

ティセンターからのご指導、ご助言をいただければと思っております。

3点目は、私たちもいずれ年を重ね活動への機動力が低下してくることが予想されます。単独でできていたこともできなくなり、他者の支援が必要となります。各高年クラブがまちづくりの一助となる団体へ成長していくためには、機動力のある今、学習の場の確保、情報交換中心の場として連絡会の設置、連絡会をまとめる存在の事務局の設置を行い、各クラブ間の支援体制を確立することが必要と思います。

以上、3点を早急に進めていくための活動を通常の学習活動に併せて行っていきたいと考えております。関係者の皆様には、私たちの活動を御理解いただき、御支援いただけましたら幸いです。

○（事務局） 今後の活動につきまして、方向性をお話しいただきました。その中には協力依頼などのお話がありましたが、教育委員会のほうでコメント等があればお願いいたします。

○（生涯学習課長） まず、活動をしていく上におきましては、当然活動の拠点というものがなくなってこようかと思えます。これは、当然コミュニティセンターでの活動ということになりますので、市民協働推進課のほうに、現在の活動が継続できるような形の働きかけを行っていきたいと思っております。

それから、地域コミュニティの活性化におきましては、コミュニティ運営協議会との連携が必要になってこようかと思えます。この点につきましても、市民協働推進課のほうに働きかけを行ってまいりたいと考えております。

それから、情報の提供というところがございましたけれども、例えば今現在、県の出前講座等を利用されておりますけれども、我々行政機関が持っている情報につきまして、学習情報の提供をさせていただきたいと思っております。

また、高年クラブの連絡会におきましては、できるだけ会場の提供をして、支援をさせていただきたいと思っております。

○（事務局） ありがとうございます。

それでは、これをもちまして閉会とさせていただきます。本日は高年クラブの大変有意義な現状、取り組みをお伺いすることができました。本当にありがとうございます。

ここで閉会に当たりまして、藤田市長が皆様方にお礼の言葉を申し上げます。

○（藤田市長） きょうは高年クラブの学習状況をつぶさに拝見させていただく機会がございましたし、4高年クラブからの活動状況を本当に丁寧に御説明していただきました。そ

の活動内容が本当に和気あいあいと申しましようか、いろんな学習をしながらその参加率が非常に高いということでした、団体としてのまとまりのよさを感じたところでございます。またこれからの市の運営、行政の進め方に参考になることがたくさんございました。本当に感謝申し上げます。

皆さん方のこのような生き生きとした活動をされる姿や生きがいを持って自主活動をされている状況を聞かせていただいたわけですが、これをこれからの市政の運営に必ず役に立てていきたいと、このように思っているところでございます。

高年クラブの皆様方には、今後ともまちづくりや地域コミュニティづくりの活性化ために変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

1点、山本副会長さんのほうから筑紫南コミュニティセンターで場所が狭いというお話がございました。今、西鉄筑紫駅前の区画整理を行っていますが、この中で、当初予定していたコミュニティセンターの完成年度を少し早めようと努力をしているところでございます。政権が変わりまして、かなり厳しい条件付きですけども、努力すればスピードアップできそうな状況がありますので、全力で取り組んで、できるだけ早い時期に完成させたいと思っているところでございます。

今日は長時間にわたって懇談をさせていただきまして、本当にありがとうございました。これからもどうぞこの4高年クラブの皆さん方がご健勝で、いつまでも若く元気で頑張っていたきたいと思っております。どうもありがとうございました。

○（事務局） これをもちまして、本日の移動市長室を閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。